

キャラクター名
ガルト・ブラッドフォード

プレイヤー名

シンドローム	ノイマン オルクス		ワークス	ダークワンC	カヴァー	ディレッタント
オプション			年齢	内緒	性別	男
覚醒	生誕	衝動	吸血	初期侵食率	34 %	
出自	有名人	経験	来訪者	邂逅	好敵手	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	26
肉体	0		1			1	行動値	6
感覚	1		0			1	(非装備時)	6
精神	4		0			4	戦闘移動	11
社会	3	1	2			6	全力移動	22

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC			交渉		2
回避			知覚			意志			調達		1
運転:			芸術:			知識:			情報:社交界		2
運転:			芸術:			知識:			情報:神秘		1
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
~99%アドヴァイス+弱点看破+導きの華	交渉	6r+2		+9		C値-1(下限6)、D+3個、達成値+6(11↑)
~159%アドヴァイス+弱点看破+導きの華	交渉	6r+2		+12		C値-1(下限6)、D+4個、達成値+8(11↑)
(160%~)アドヴァイス+弱点看破+導きの華	交渉	6r+2		+15		C値-1(下限6)、D+5個、達成値+10(11↑)
+要の陣形						シナリオ3回まで3人にできる(14↑)

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
モーニングジュエリー	
オーバーコート	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
触媒(カタリスト)	PDロイス	N		
ジェームズ・モリアーティ	P 好奇心	N 偏愛		
ケネス・ローウェル	P 好意	N 偏愛		
ジンジャー	P 純愛	N 偏愛		
劉 黒龍	P 慈愛	N 偏愛		
ステイシー・リーパー	P 幸福感	N 偏愛		
	P	N		

最大財産P: 14 残り財産P: 8

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
アドヴァイス	3	4	メジャー	視界	単体	自動	-	
効果:	C値-1(下限6)、D+Lv個							
弱点看破	3	3	メジャー	視界	単体	自動	-	
効果:	攻撃力+ [Lv×3]							
導きの華	3	4	メジャー	視界	単体	自動	-	
効果:	達成値+ [Lv×2]							
要の陣形	3	3	メジャー	-	3体	-	-	
効果:	対象を3体に変更。シナリオLv回							
ドクタートリドル	1	-	常時	至近	自身	自動	-	
効果:	あらゆる言語を使いこなす。動物とも喋れる!							
不可視の領域	1	-	メジャー	至近	-	-	-	
効果:	特定の領域を隠蔽 [Lv×1000] 平方メートルくらいいける。							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

近年ロンドンに住んでいる吸血鬼。
自身の事は「恋多き愛情深き紳士」であると称している。
吸血鬼くせに平生は街を闊歩している。
陽の光を浴びると力が弱まりとても眠いが、
本人曰く「なあと月経時の乙女のようなものだよ!」ということらしい。
独自の美的感覚アンテナに引っかかった人間はすぐに口説こうとする。
普段は人間のような顔をしてロンドンに住んでいるので、近所に住む人間たちには
奇人変人だと噂され奇異なものを見るような目で見られている。
本人はまったく気にしてないのご近所にルンルンであいさつをする。

*

彼は自称美食家である。
彼が「美」とする食事とは愛する者の血である。
愛した人間が死を迎えるまでその血を味わい尽くすことをポリシーにしている。
「飼育」する人間は彼に惚れて、彼に愛されることを受け入れた人間のみ。
彼と出会い、彼の神秘、狂気に魅せられた人間を住処に連れて行き「飼育」を行う。
彼は自分が本当に見初めた「餌」と恋をするのだ。
溺れるほどの愛情を注ぎ、狂うほどに愛でて精神を壊していく。
愛しい「餌」の生命の灯が消えるまで、恋人ごっこは続くのである。
長く生かす事が目的でないため、衰弱しても毎日血を吸うことはやめないの、
長く持っても数か月で「餌」は死んでしまう。